

# イネいもち病

【学名：*Pyricularia oryzae*】



## 【被害と発生生態】

- ・発生部位 … 葉，穂（穂首，みご，穂軸，枝梗）
- ・発生時期 … 苗いもち：育苗後期  
葉いもち：6～8月  
穂いもち：8～10月
- ・発生好適条件…14～30℃（最適 25℃）で湿潤状態が長時間連続する場合

## 【見分け方】

- ・サイズ：2～3mm（病斑直径）
- ・形態：ほぼ円形で葉脈方向に沿って両端にやや尾を引いたような形状で，色はやや紫色を帯びた灰白色です。

## 【防除のめやす】

- ・葉いもちの防除適期は，初発確認後の早い時期に防除効果が高くなります。
- ・穂いもちの防除適期は，穂孕末期から穂揃期です。

## 【対策】

- ・健全種子の使用と農薬を用いた種子消毒を徹底してください。
- ・いもち病の発生しやすい地域では，育苗期に長期残効型の箱施用剤を使用します。6月以降の田植では，いもち病が発生しやすいため，遅効性の抵抗性誘導剤ではなく，即効性のメラニン生合成阻害剤を使用します。